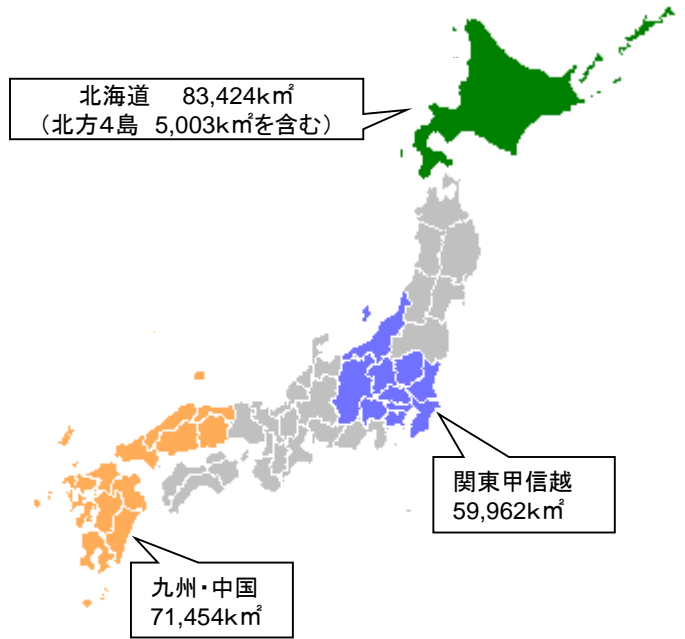


参考資料：北海道の現状

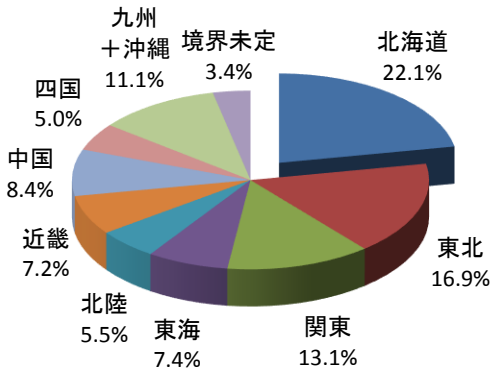
面積

北海道の面積は8万3,424 km²で、国土のおよそ22%を占める。

全	国	377,970km ²					
北	海	道					
全	国	比					
22.1%							
関	東	甲	信	越	59,962km ²		
九	州	+	中	国	地	方	71,454km ²
オ	ー	ス	ト	リ	ア	83,871km ²	
韓	国	100,266km ²					



【国土に占める北海道の面積比】



注1：全国と北海道の面積は、北方領土（歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島）5,003km²含む。

注2：県境にまたがって境界未定となっている市町村等の面積は含まない。

注3：画質及び紙幅の関係上、全ての島嶼を本地図中で正確に表記できているものではない。

出典：総務省統計局「世界の統計2016」
国土地理院「平成27年全国都道府県市区町村別面積調」

人口

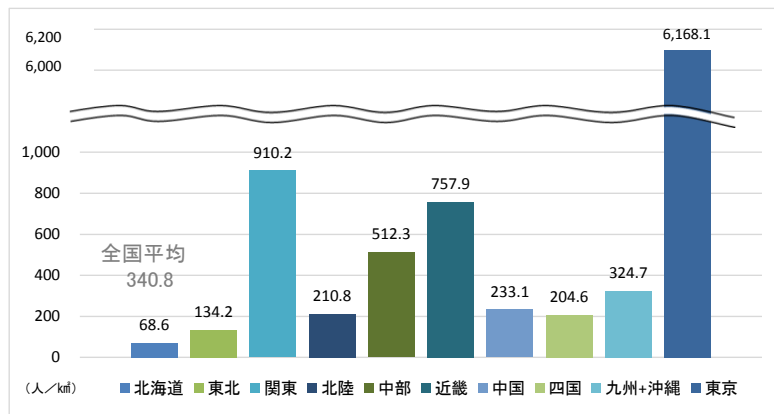
北海道の人口は約538万人（対全国比約4.2%、47都道府県中8位、人口密度は1km²当たり68.7人（全国の約5分の1）（平成27年）となっており、広い地域に人が分散して居住する広域分散型社会を形成している。

人口

全	国	1億2,711万人
北	海	道
全	国	比
4.2%		

人口密度

全	国	341人/km ²
北	海	道
69人/km ²		



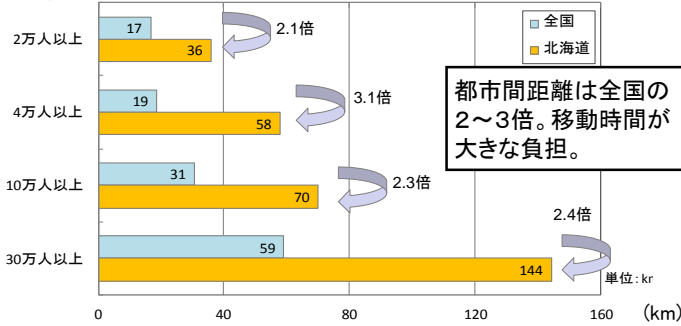
出典：総務省統計局「平成27年国勢調査」

※人口密度算出にあたり、北方領土は除かれている。

広域分散型社会の課題

【最寄り都市までの平均道路距離】

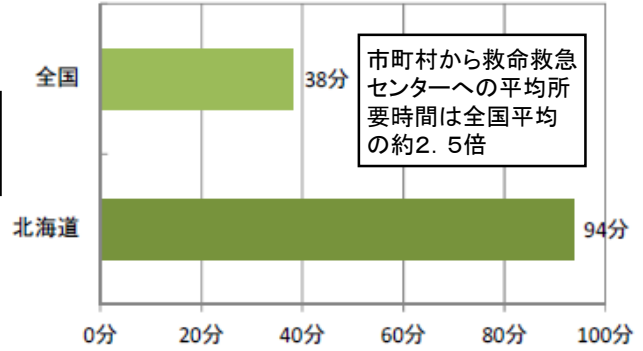
(最寄り都市の人口規模)



都市間距離は全国の2~3倍。移動時間が大きな負担。

注: 全国は北海道を除く。集計には離島を含まない。
 ※最寄都市までの平均移動距離とは、対象人口規模未満の都市から対象人口の都市までの道路距離の平均値。
 資料: NITAS(総合交通分析システム)H24年度Ver.2.0を用いて集計
 出典: 社会資本整備審議会 道路分科会 第6回北海道地方小委員会

【救命救急センターへの平均所要時間】



市町村から救命救急センターへの平均所要時間は全国平均の約2.5倍

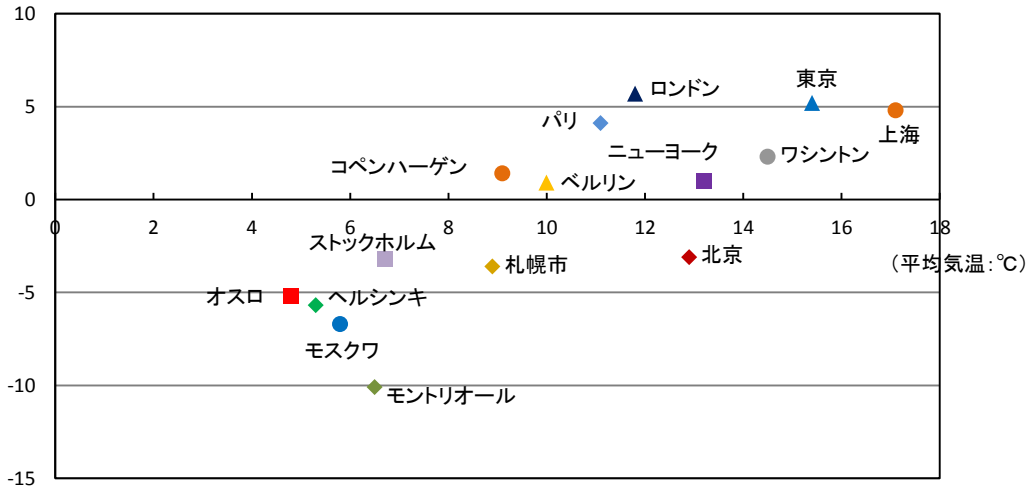
注: 全国は北海道を除く (平成21年度末時点)
 資料: NITAS(総合交通分析システム)

気候

札幌市の年平均気温は8.9℃、月別平均気温の最も低い1月の平均気温は-3.6℃であり、世界の主要都市と比べ低い。

(最低気温:℃)

世界の主要都市の平均気温・最低気温

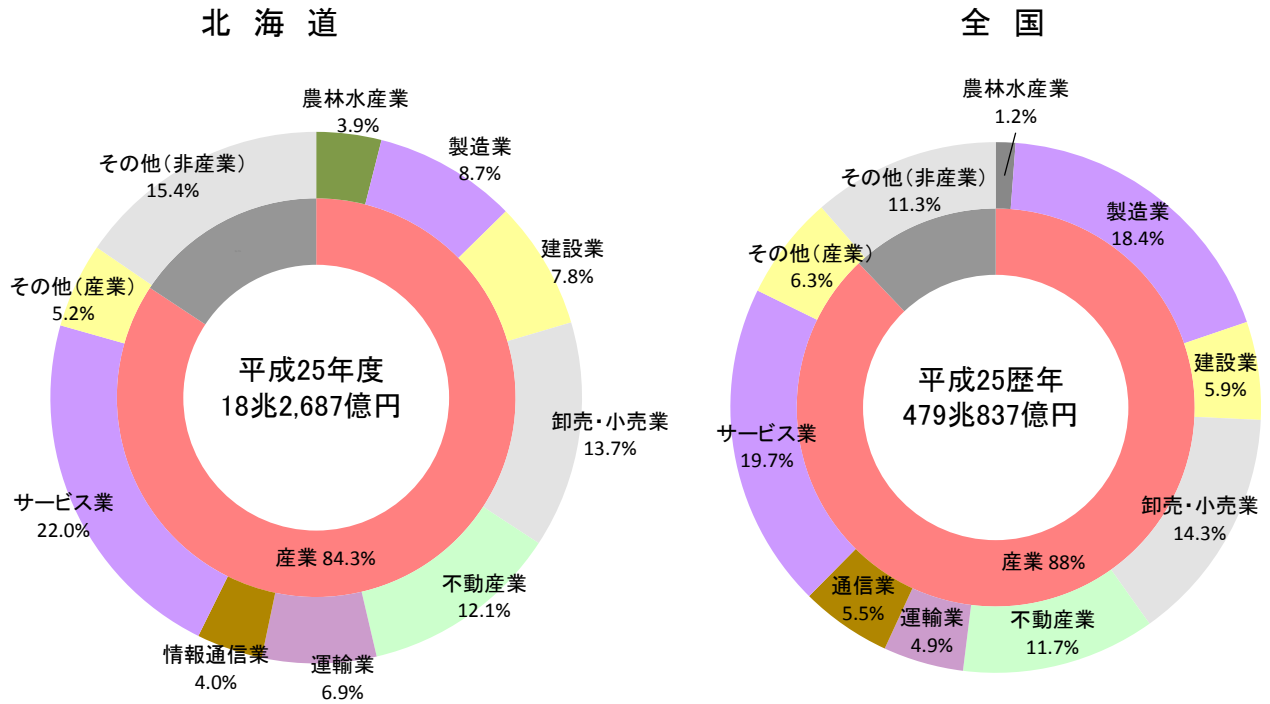


注: 平均気温は1981年から2010年までの年平均値、最低気温は月別平均気温の最も低い月の月平均値である。
 (都市により調査期間が異なる場合がある)

出典: 国立天文台編「理科年表(平成28年)」

北海道内総生産は18兆2,687億円(全国の約4%)であり、産業構造は全国に比べ農林水産業の構成比が高く、製造業は低い。

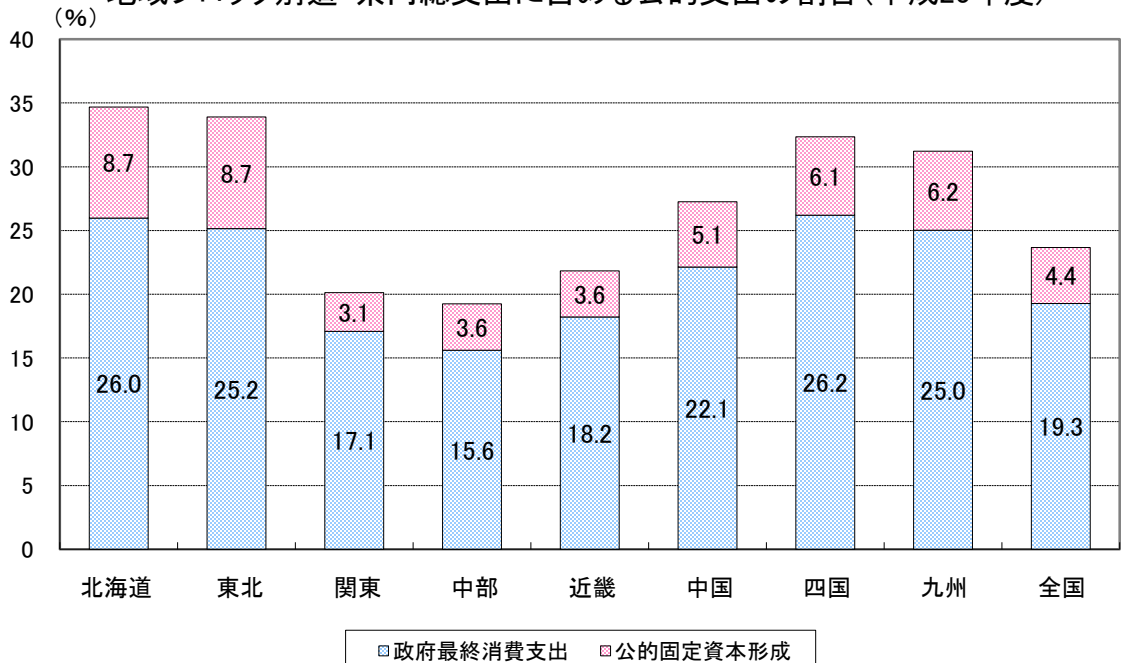
総生産の(名目)構成比



出典: 北海道「平成25年度道民経済計算(確報)」
内閣府「平成26年度国民経済計算」

北海道内総支出に占める公的支出の割合は34.7%であり、全国の23.7%と比べ大きい。

地域ブロック別道・県内総支出に占める公的支出の割合(平成25年度)

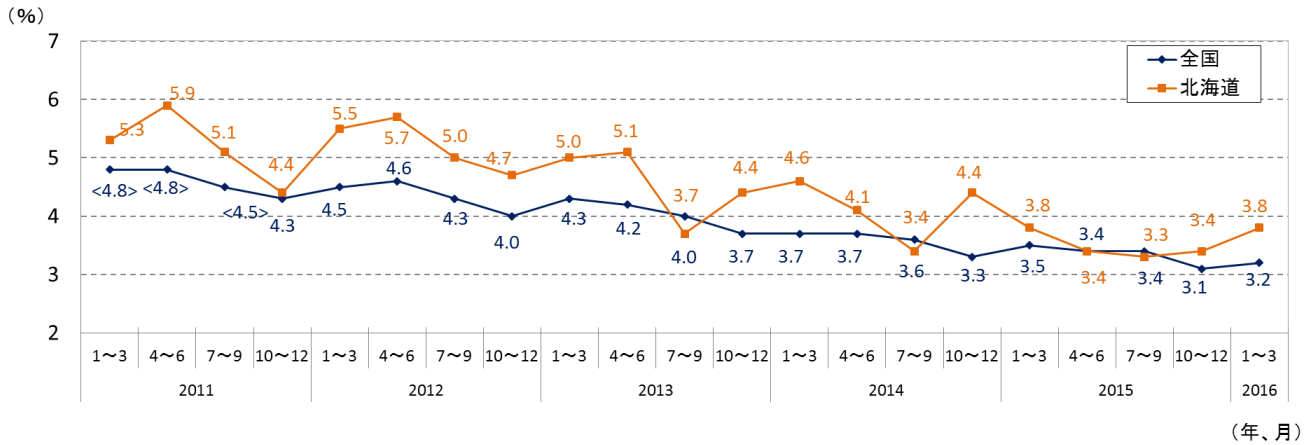


出典: 内閣府「平成25年度県民経済計算」

雇用

①完全失業率の推移

北海道の完全失業率は、長期にわたって全国を上回って推移しており、雇用情勢は厳しい状況が続いている。



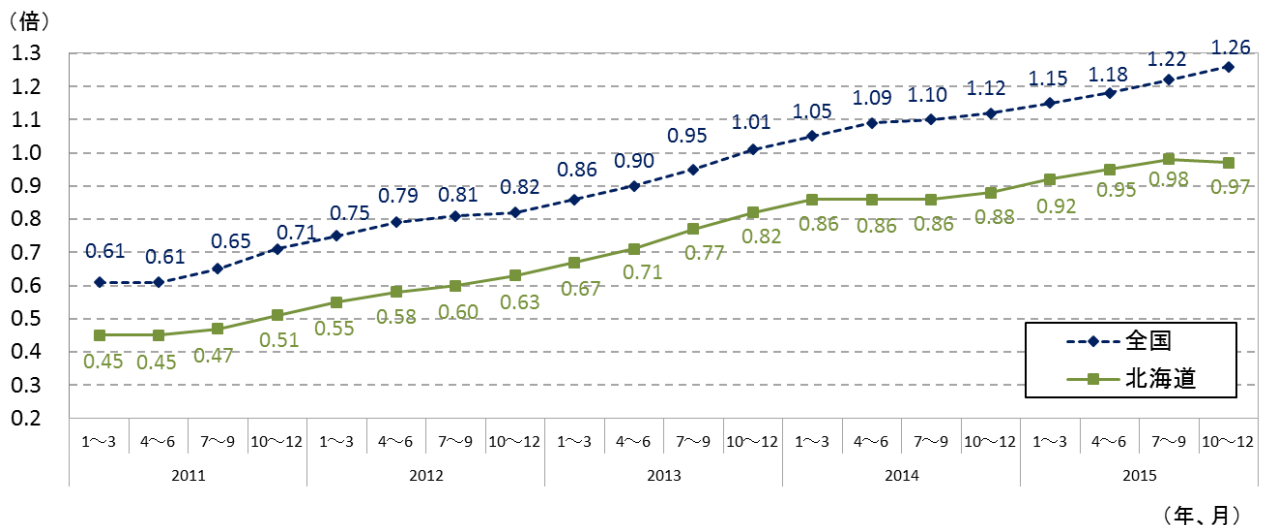
注1:原数値

注2:< >内の数値(2011年1~3月期から7~9月期の全国)は、補完推計値を用いた参考値。

出典:総務省「労働力調査」

②有効求人倍率の推移

北海道の有効求人倍率は、全国と比較して低調に推移している。



注:季節調整値。パート含む。

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」

農業

北海道では、全国の約4分の1の耕地面積を活かした生産性の高い農業を展開している。平成26年の農業産出額は1兆1,110億円で、全国の約13%を占めている。

北海道農業の現状

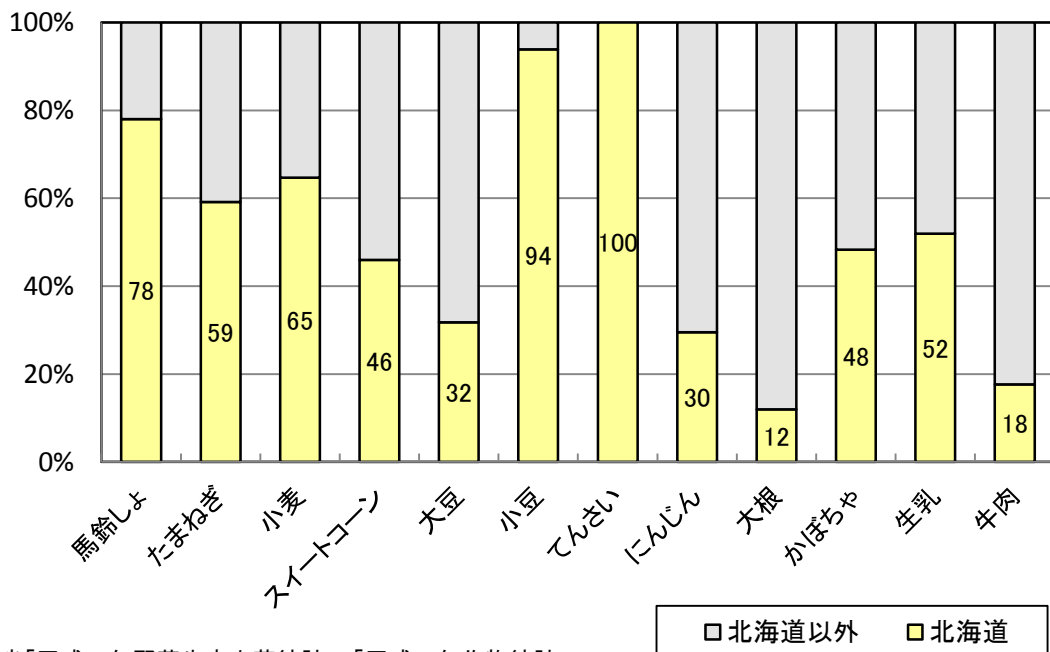
内 訳	単位	北海道	全国	全国比	調査年
総農家数	千戸	44	2,155	2.0%	H27年
販売農家数	千戸	38	1,330	2.9%	H27年
うち主業農家	千戸	28	294	9.5%	H27年
農業就業人口(販売農家)	千人	97	2,097	4.6%	H27年
耕地面積	千ha	1,147	4,496	25.5%	H27年
1経営体当たり経営耕地面積(農業経営体)	ha	26.5	1.8	14.7倍	H27年
家畜飼養頭数					
乳用牛	千頭	792	1,371	57.8%	H27年
肉用牛	千頭	505	2,489	20.3%	H27年
1戸当たり乳用牛頭数	頭	118.6	52.5	2.3倍	H27年
農業産出額	億円	11,110	84,279	13.2%	H26年

注:内訳中、1経営体当たり経営耕地面積及び1戸当たり乳用牛頭数の全国値は、北海道を除く都府県の値である。

出典:農林水産省「2015年農林業センサス」、「平成27年耕地面積及び作付面積統計」、「平成27年畜産統計」、「平成26年生産農業所得統計」

品目別の生産量(平成26年)では、馬鈴しょ、たまねぎ、小麦、大豆、小豆、てんさい等多くの品目がシェア全国一となっている。

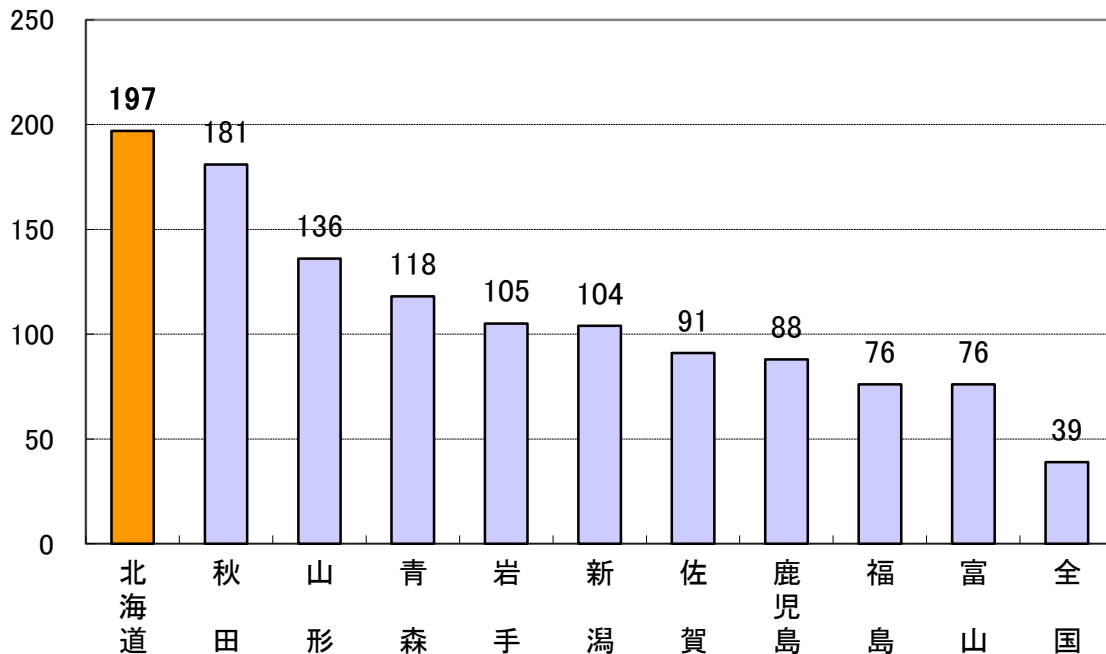
北海道が生産量で全国トップの農畜産物



出典:農林水産省「平成26年野菜生産出荷統計」、「平成26年作物統計」、「平成26年牛乳乳製品統計」、「平成26年畜産物流通統計」

北海道の食料自給率は約200%（平成25年度、概算値）であり、我が国における食料の安定供給に重要な役割を發揮している。

(%) 都道府県別カロリーベース食料自給率(トップ10位)(平成25年度概算値)



出典：農林水産省「都道府県別食料自給率」

水産業

平成26年の海面漁業・養殖業生産量は124万トンで全国470万トンの約26%を、また、生産額は3,085億円と全国1兆4,134億円の約22%を占めており、いずれも全国第1位となっている。

北海道水産業の現状(平成26年)

(単位：千t(生産量)、億円(生産額)、%)

区分	北海道		全国		全国比	
	生産量	生産額	生産量	生産額	生産量	生産額
海面漁業・養殖業	1,242	3,085	4,704	14,134	26.4%	21.8%
海面漁業	1,104	2,636	3,716	9,691	29.7%	27.2%
海面養殖業	138	449	988	4,443	14.0%	10.1%

出典：農林水産省「平成26年漁業・養殖業生産統計」、「平成26年漁業生産額」
北海道農政事務所統計部「北海道農林水産統計年報(水産編)平成26年」

林業

北海道の森林面積は全国の22%に当たる554万ヘクタールで、道民一人当たりでは約1ヘクタールと、全国平均の約5倍になっている。また、天然林の割合が高く、全国の天然林面積の4分の1以上を占めている。

北海道林業の現況

項目	単位	北海道	全国	全国比	調査年
森林面積	千ha	5,538	25,081	22.1%	全国:H24.3.31 北海道:H24.4.1
うち人工林面積	千ha	1,498 (27.1%)	10,289 (41.0%)	14.6%	
森林蓄積	百万m ³	743	4,901	15.2%	
林業産出額	億円	463	4,247	10.9%	H25年
木材供給量	千m ³	7,216	73,867	9.8%	全国:H25年 北海道:H25年度
うち国産材	千m ³	3,997 (55.4%)	21,117 (28.6%)	18.9%	
うち輸入材	千m ³	3,219 (44.6%)	52,750 (71.4%)	6.1%	

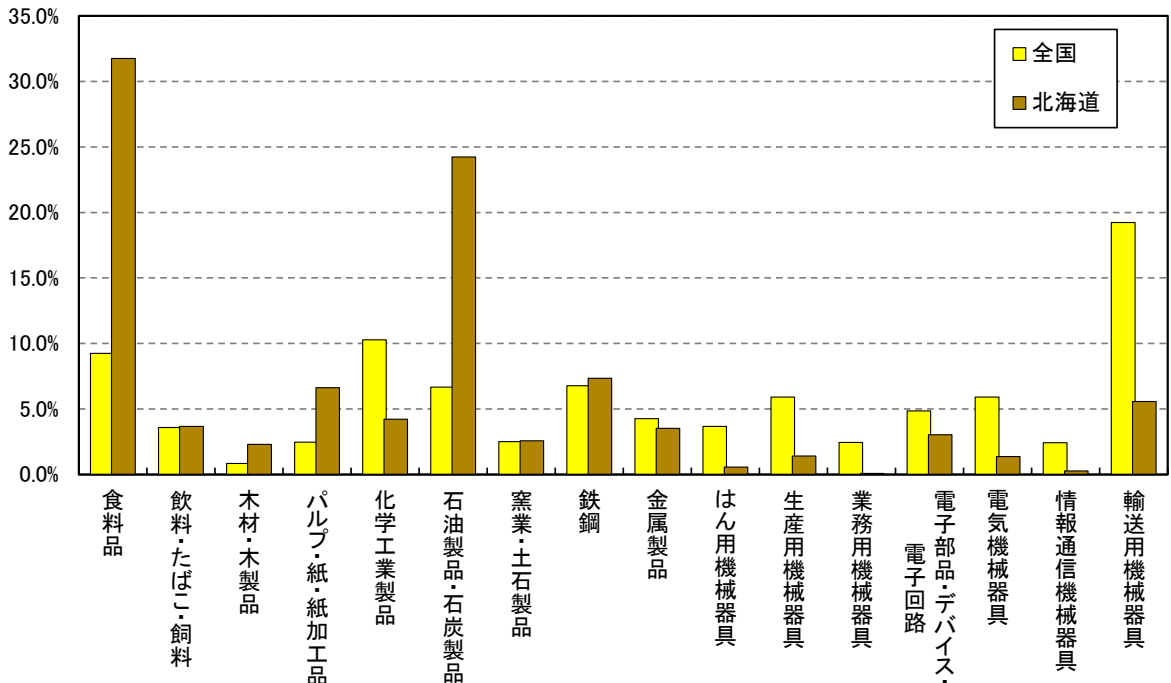
注:四捨五入の関係で各区分の積み上げと合計が合わない場合がある。

出典:農林水産省「平成25年生産林業所得統計報告書」、林野庁「森林資源現況調査」
北海道「平成23年度北海道林業統計」、「平成25年度北海道木材需給実績」

工業

北海道の工業出荷額構成比は、農水産物を加工する食料品が大きい一方で、機械類が小さい。

主な業種別工業出荷額構成(平成26年)

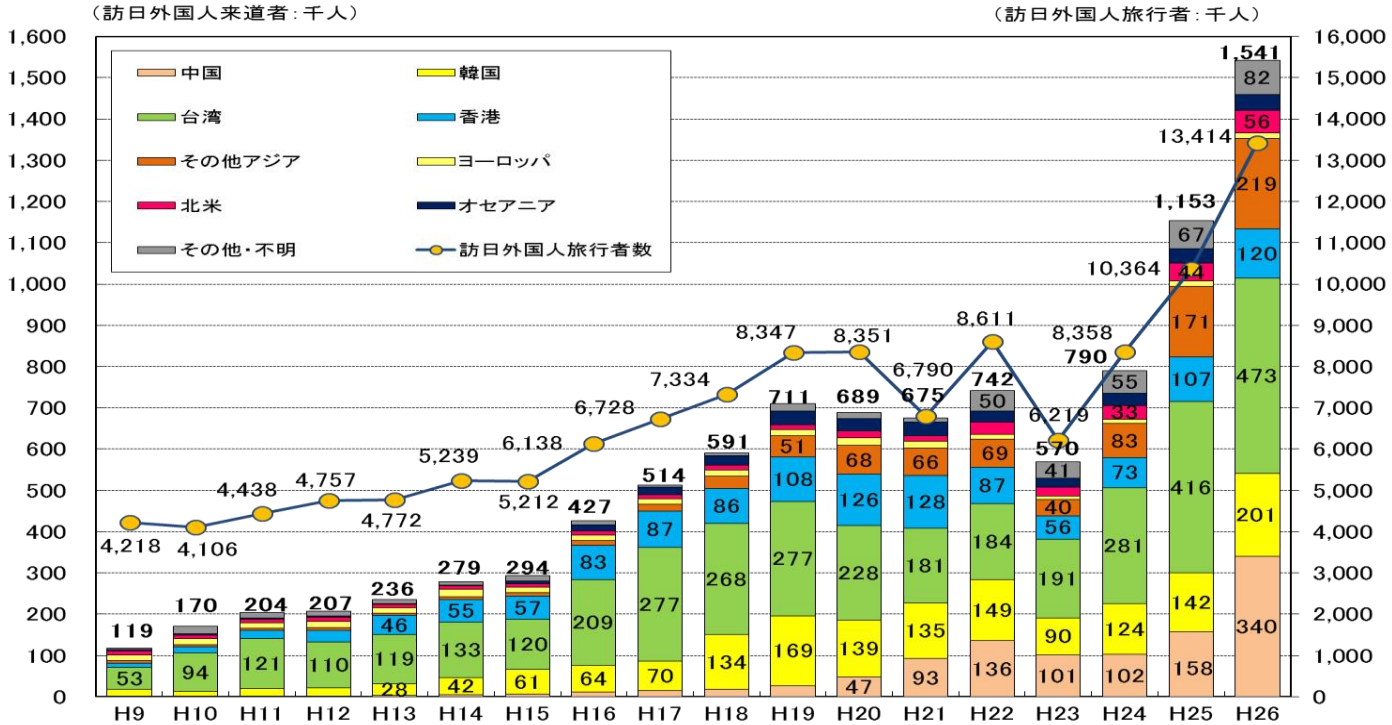


出典:経済産業省「平成26年工業統計表」

観光

平成26年度の訪日外国人来道者数は、国際定期便の新規就航や増便、クルーズ船の寄港の増加、査証要件の緩和、免税制度の拡充、円安基調の継続などから前年度に比べて33.7%増加し、154万1,300人となり、過去最高を更新。
 なお、これは日本全体の平成26年度訪日外国人旅行者1,467万人の10.5%となっている。

訪日外国人旅行者数と訪日外国人来道者数の推移



出典：北海道「北海道観光入込客数調査報告書」、日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数統計」
 ※全国は年単位、北海道は年度単位での集計。

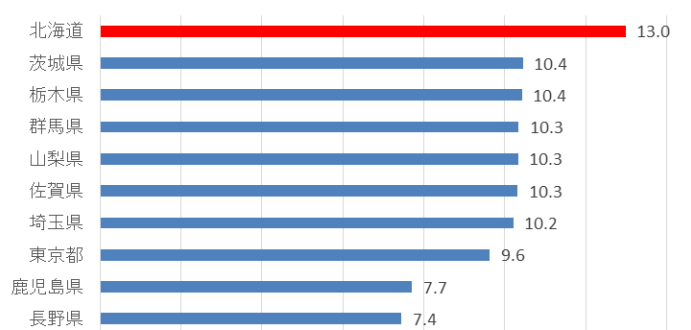
北海道はアジアにおける訪日旅行先としてニーズが高い地域であり、外国人来道者数が増加しているとともに、訪日外国人1人あたりの観光消費額が全国1位となっている。

日本の観光地への訪問意欲

	韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア
1位	東京	富士山	北海道	北海道	富士山	北海道	富士山	東京
2位	大阪	北海道	大阪	沖縄	東京	富士山	東京	富士山
3位	札幌	東京	京都	東京	北海道	東京	北海道	大阪
								5位:北海道

出典：日本政策投資銀行北海道支店「アジア8地域・北海道観光に関する訪日外国人の意向調査(平成27年版)」
 調査対象者は20歳～59歳の男女、かつ、海外旅行経験者

訪日外国人旅行者の観光消費額単価(平成26年)



観光庁「観光入込客統計」を基に北海道局作成
 観光目的宿泊客の観光消費額単価について、上位10都道府県を抽出

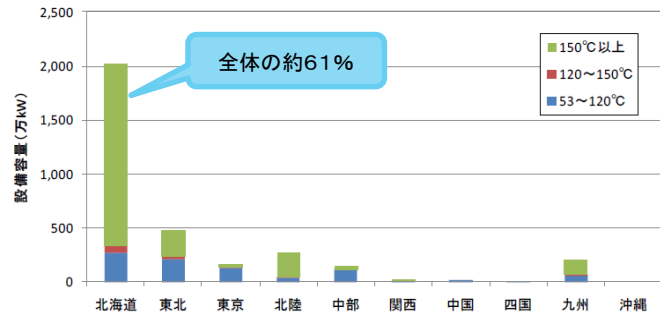
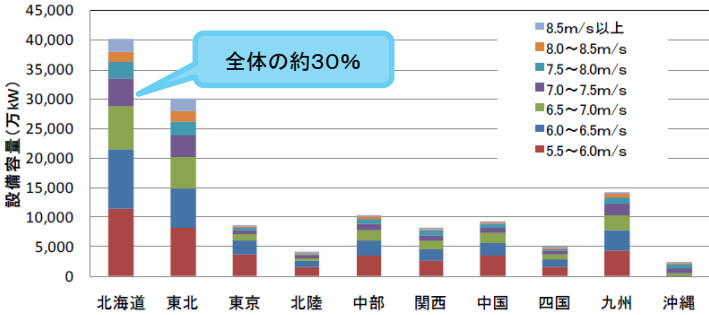
(万円/人)

エネルギー

北海道は太陽光、風力、地熱、バイオマス、雪氷冷熱などの再生可能エネルギー等の賦存量が豊富であり、その利活用の促進が見込まれる。(例:陸上風力の電力供給エリア別の賦存量は全体の約30%。地熱の電力供給エリア別賦存量は全体の約61%)

陸上風力の電力供給エリア別の賦存量分布状況

地熱の電力供給エリア別の賦存量分布状況



出典:環境省「平成22年度再生可能エネルギー導入ポテンシャル調査報告書」

北海道の1人当たりのCO₂排出量[11.9t-CO₂/人]は、冬期間が長く積雪寒冷地域であること、広域分散型社会であることなどから、全国平均[10.0t-CO₂/人]よりも多くなっている。

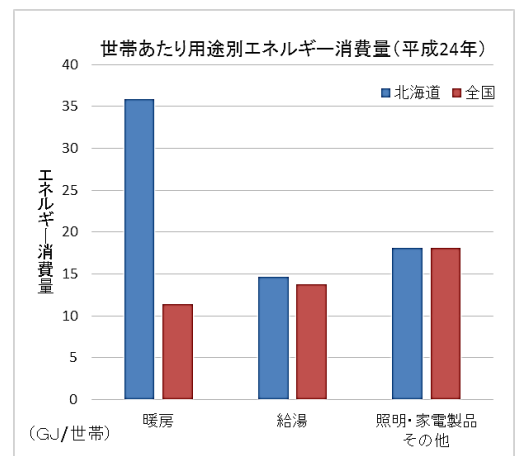
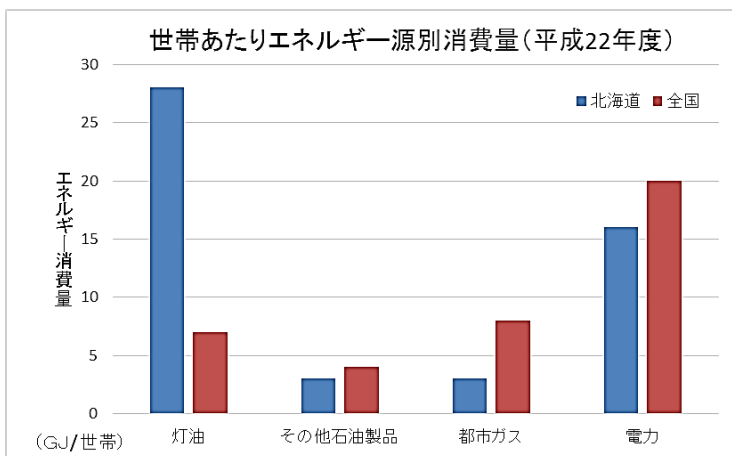
全国の二酸化炭素排出量との比較(平成24年度)

区分	北海道	全国
二酸化炭素排出量	6,513 万 t-CO ₂	127,600 万 t-CO ₂
1人当たり	11.9 t-CO ₂ /人	10.0 t-CO ₂ /人

出典:北海道「北海道の温室効果ガス排出実態調査について」

積雪寒冷地域の北海道では、暖房に使用する灯油の消費量が多い。

全国と北海道のエネルギー消費量(エネルギー源別、用途別)



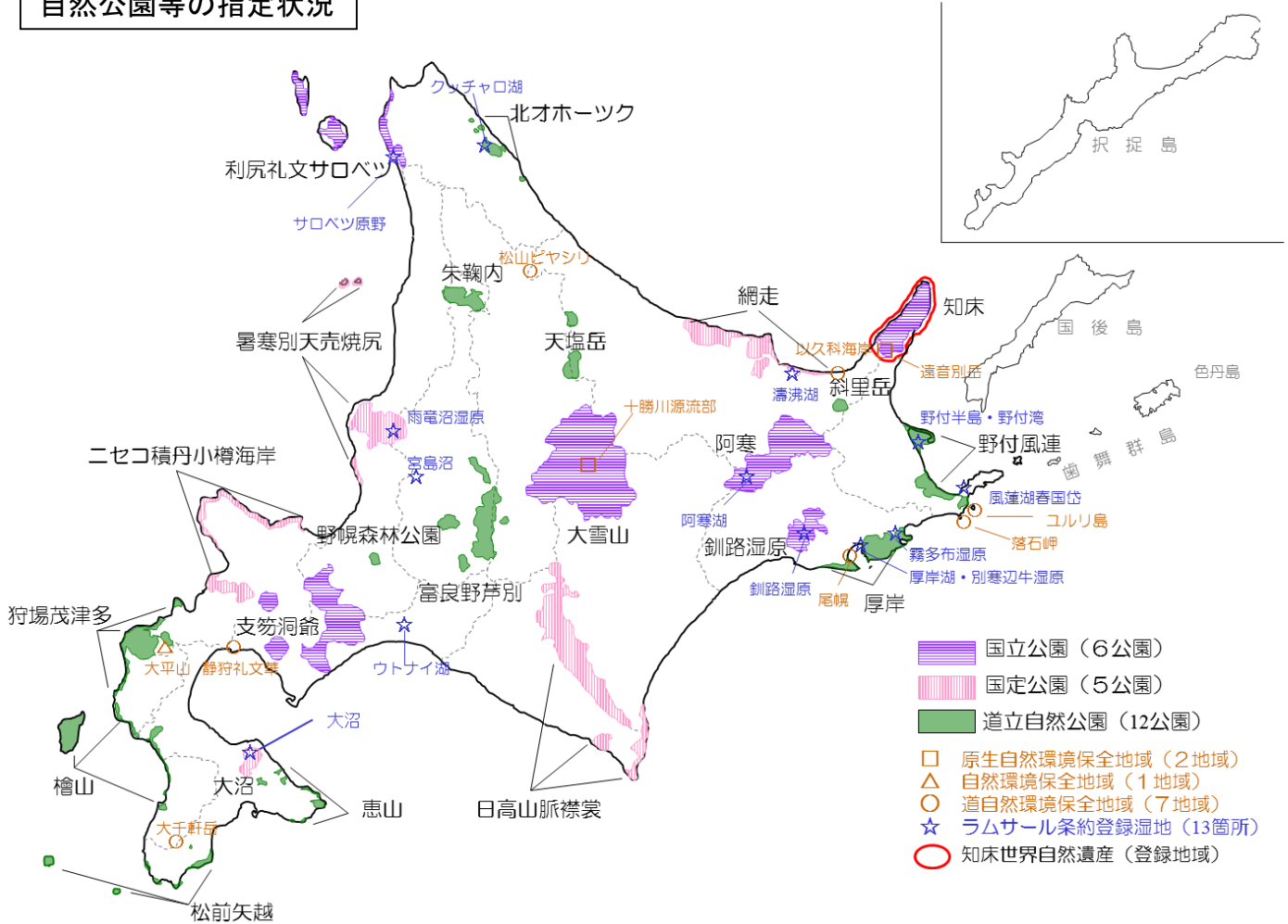
出典:経済産業省北海道経済産業局
「グラフで見る北海道のエネルギー消費-2010年度-
~震災影響前の特徴~」

出典:(一財)省エネルギーセンター/(株)住環境計画研究所
「家庭用エネルギーハンドブック(2014年版)」

自然環境

北海道には、世界自然遺産である知床を始めとして、国立公園やラムサール条約湿地など豊かで美しい自然環境がある。なお、日本のラムサール条約湿地数は50か所(面積148,002ha)あり、そのうち北海道は13か所(面積36,632ha)を有する。

自然公園等の指定状況



資料提供:北海道

自然公園の面積等の状況

種別	公園数		公園面積		一人当たり面積	
	全国 (箇所)	北海道 (箇所)	全国 (ha)	北海道 (ha)	全国 (㎡/人)	北海道 (㎡/人)
国立公園	32	6	2,133,693	508,308	166.4	935.8
国定公園	57	5	1,419,542	212,359	110.7	391.0
都道府県立自然公園	311	12	1,967,222	146,873	153.4	270.4
合計	400	23	5,520,457	867,540	430.5	1,597.2

出典:環境省「自然公園面積総括表」(平成28年4月15日現在)と総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」(平成27年7月1日現在)を基に、国土交通省北海道局作成。